

2015年(平成27年)10月9日(金曜日)



静岡
版



子育てや高齢化問題などで意見を交わす参加者＝静岡市葵区で

女性と市長らが語る会、提言次々

静岡市内の女性と田辺信宏市長、女性市議が子育てや仕事、地域活性化をテーマに語る会が八日、葵区のアイセル21であった。参加者からは、女性がよりよく生きるための方法として、男性が育児参加しやすい環境整備、子育て支援、保育園運営への手厚い財政支援が必要だと提言があった。

市女性の会連絡会の会員ら約七十人が参加した。NPO法人よしよしの中村純子副代表は、第二子以降の経済面などの優遇措置や育児環境整備を要請し「男性にも人生のイベントとして子育てをしてほしい」と話した。学校行事での有給休暇取得が母親に偏り、本当に必要な子

男性子育て参加 しやすい環境を

葵区 地域活性で静岡独自施設

どもの病気の際などに有給を取りにくい現状を紹介した。

別の女性は、保育士の娘が休日も働きながら子育てしていると話し、保育料無償化と保育園への補助金増額を訴えた。常葉大法学部三年の望月菜摘さんと大村沙希さんは「海や富士山がきれいで歴史文化のある静岡ならではの施設を造って」と地域活性化策を提案した。

田辺市長は提言に耳を傾け、市の管理職が部下の子育て環境整備に取り組んでいることを説明した。

語る会は、市内三つの女性団体でつくる連絡会の実行委が二〇一三年度から毎年開いている。

(河野貴子)